

令和6年度青森県発達障がい者支援地域協議会

青森県発達障がい者支援センター「わかば」

取組状況及び今後の取組の方向性について

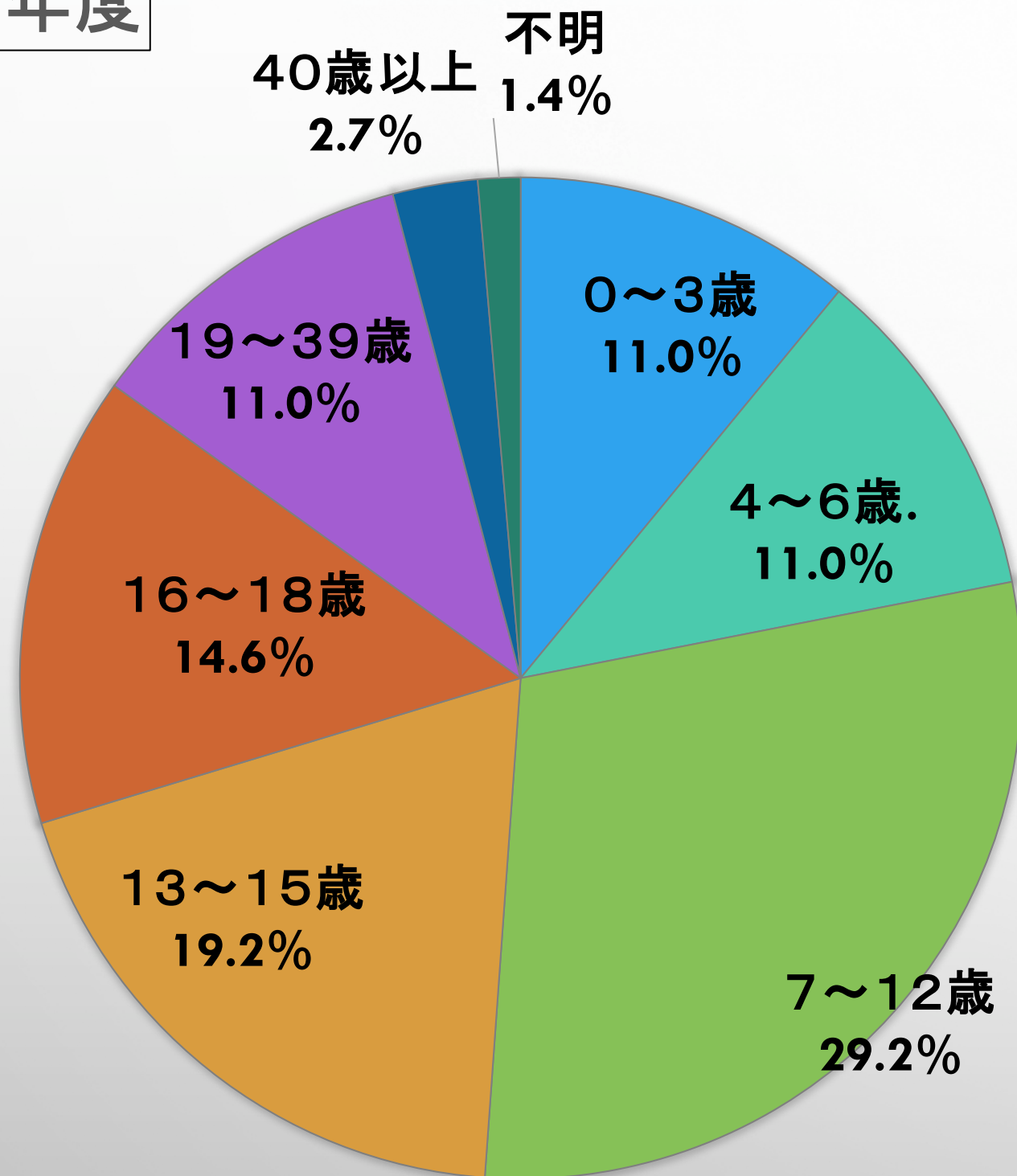
令和7年1月31日（金）

令和6年度事業実施状況（R6. 4月 ～ R6. 11月）

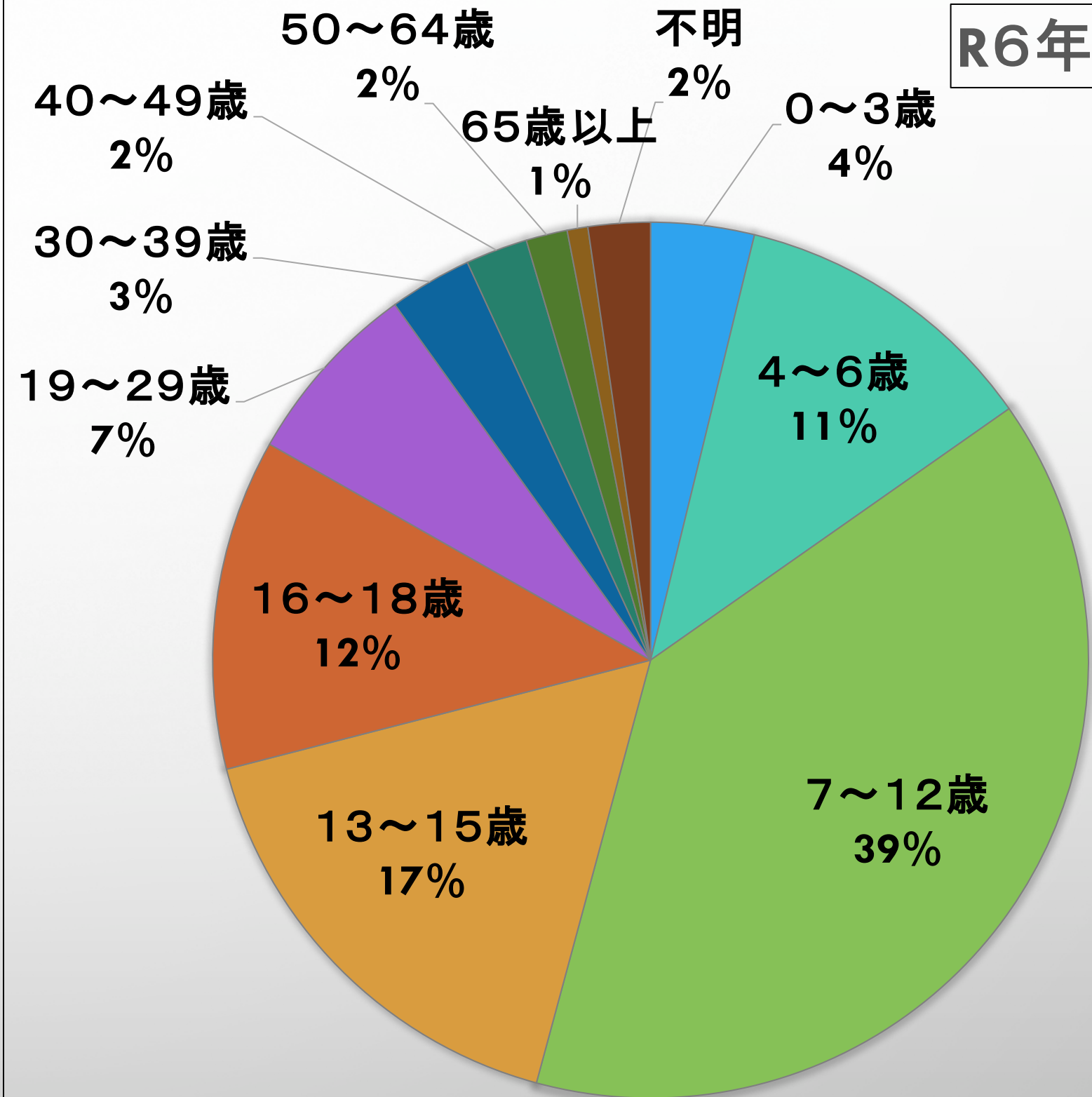
発達支援	実支援件数	131名
	延支援件数	397名
就労支援	実支援件数	20名
	延支援件数	50名
センター主催・共催で企画した研修会	9回 参加者	355名
外部から講師依頼を受けた研修	8回 参加者	307名
他の協議会への参加状況	18回	
関係機関職員への助言 （機関コンサルテーション）	12機関	18件
調整会議	9回	

相談支援 年齢別割合

R5年度

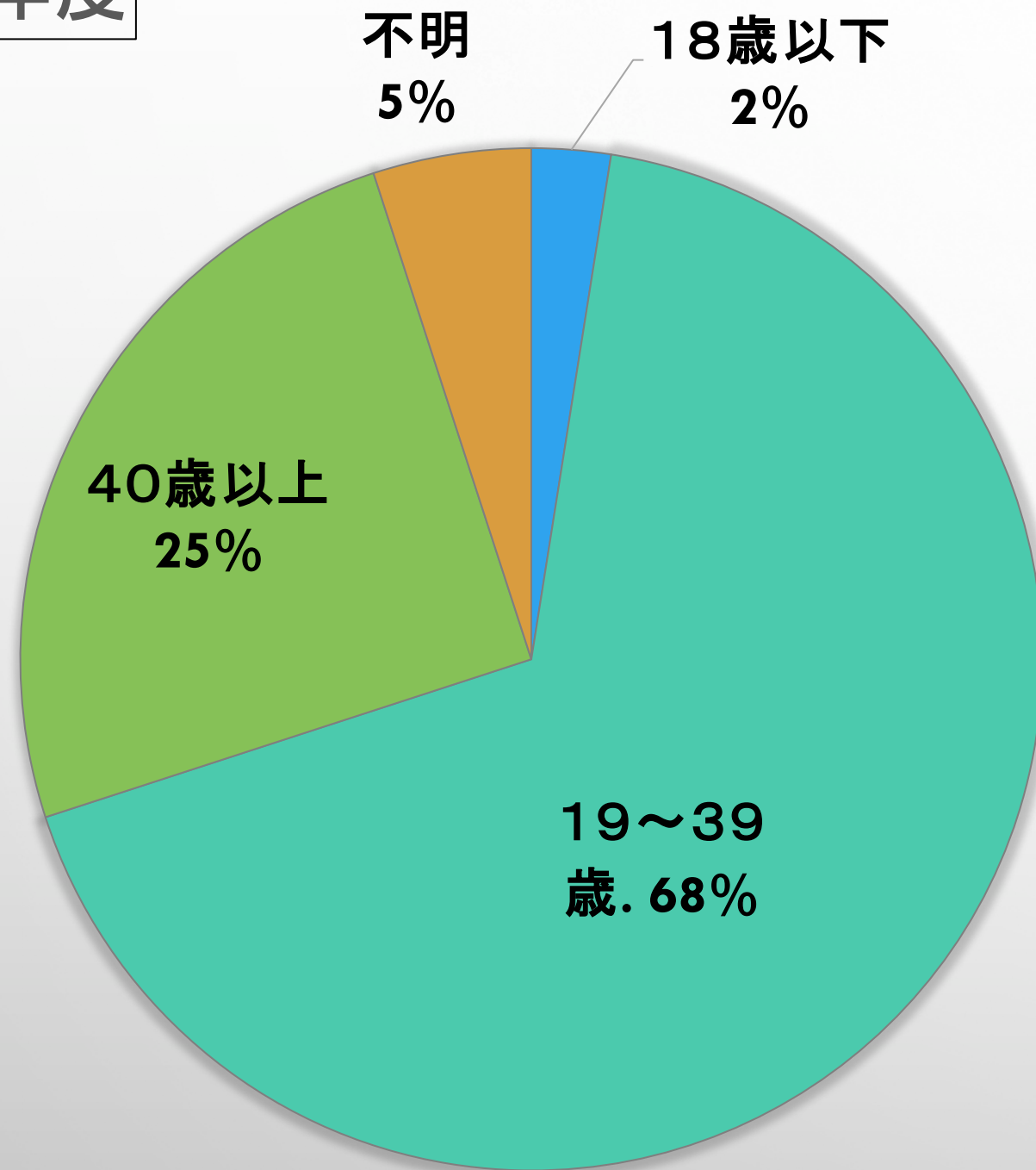


R6年度

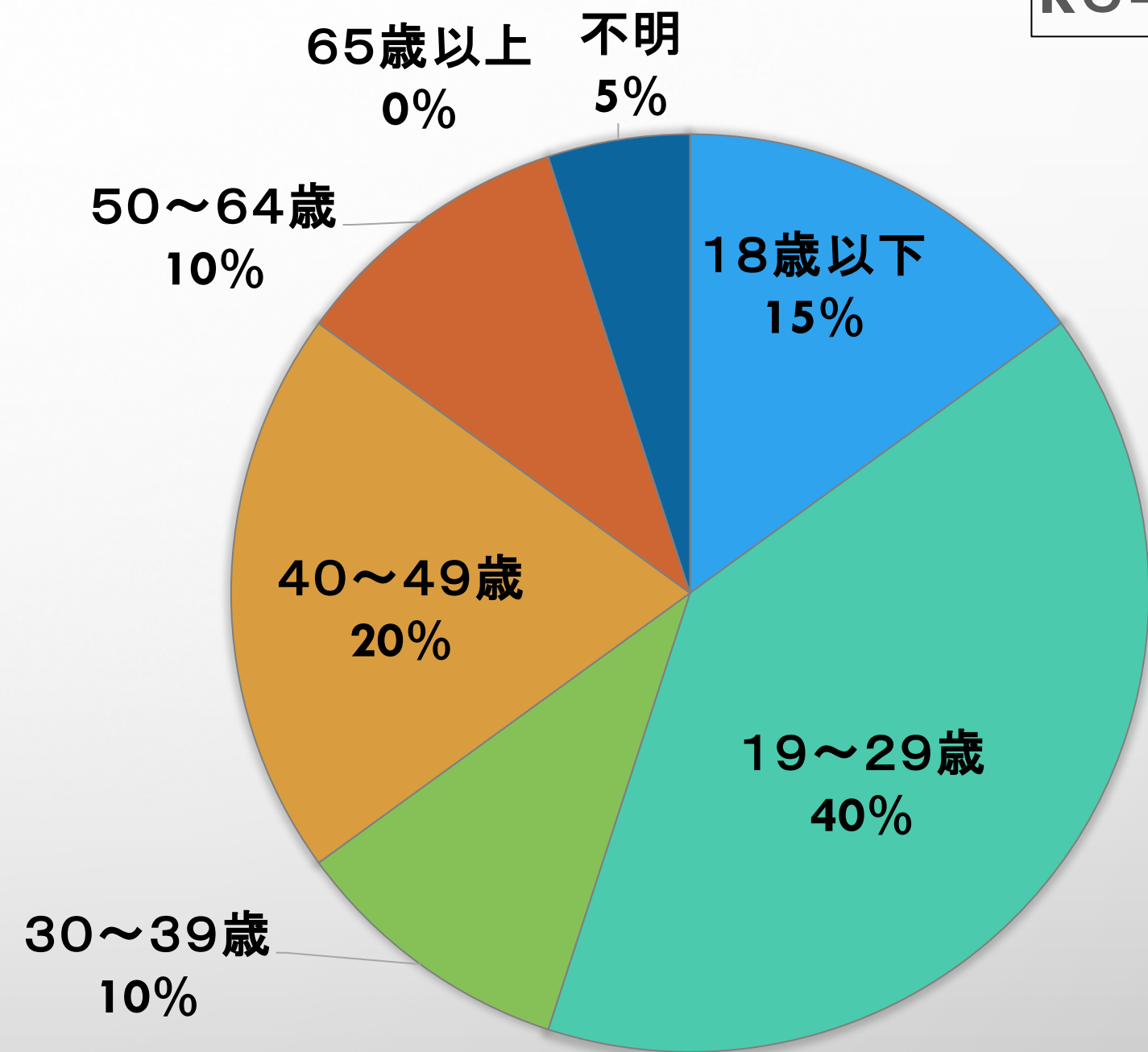


就労支援 年齢別割合

R5年度



R6年度



地域連携強化事業

- 福祉サービスの資源が少ない地域を対象に、幼児健診での助言や保育園巡回を実施。巡回は地区担当の保健師さん同行で行い、保護者面談を実施する場合も保健師さんに同席してもらう。
- 対象地域：深浦町

【幼児健診（1.6歳、3歳児）】

4月・7月・10月実施 助言 10名

【巡回相談】

5・6・8・10・11月実施

相談件数：11件 （4箇所）

事例検討会 1回実施

発達障がい児者支援スキルアップ研修事業

令和6年度青森県発達障がい者支援体制整備事業

強度行動障がい支援セミナー

「強度行動障がいのある児童生徒の支援」

オンライン
(zoom)

応用行動分析をベースに、エビデンスに基づいた支援プログラムを開発されている井上先生から、強度行動障がいの定義、学齢期の様態、アセスメント、環境整備、望ましい行動の支援、家族支援、機関連携などについてお話をいただきます。

参加費
無料

日時： 令和6年10月9日（水）

15：00～17：00（オンライン開催）

講師： 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻臨床心理学講座
教授 井上 雅彦 氏

定員： 100名（参加無料）

対象者： 発達障がい児者支援に関わる、教育、福祉、医療、保健の職員など

お申し込み方法

参加を希望される方はQRコードからお申込みください。
申込締め切り 令和6年9月30日（月）

QRコード



※氏名・所属・連絡先を記載のうえ下記メールにてお申し込みも可能です。

kenshu@aorid.com（担当 今）

<https://forms.gle/my1ja8VH5JT9oUmU6>

申し込み状況によってお断りさせていただく場合もございます。
その際には、こちらからご連絡いたします

お問い合わせ先

青森県発達障がい者支援センター「わかば」（津軽地域）

TEL 0173-26-5254 FAX 0173-26-5255

主催： 青森県自閉症協会

青森県発達障がい者支援センター「わかば」（社会福祉法人あーど）

後援： 青森県発達障がい者支援センター「ステップ」（社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団）

青森県発達障がい者支援センター「Doors」（社会福祉法人豊寿会）

『強度行動障がい支援セミナー』



強度行動障害のある児童生徒への支援

井上雅彦

鳥取大学医学系研究科臨床心理学講座

masahiko-inoue@med.tottori-u.ac.jp

www.masahiko-inoue.com

参加者： 100回線 195名

特別支援学校 10校 100名以上の参加
校内研修として20～40名参加した学校も

『強度行動障がい支援セミナー』受講者の感想

- 誤学習をさせないように指導をチームで行っていききたい
- 問題行動は意思表示であることを思い出しながら支援をしていききたい
- 問題行動の根っこに早期からの関わり、支援者の介入の大切さがあると分かって納得した
- 病院や一部の施設の支援に任せっきりでなく、本人に関係のある人が複数人で一緒に考え、試し、修正していき、移行期にも支援が続くよう情報共有をきちんと行っていくことが必要だと思った
- 行動の機能のアセスメント、コミュニケーションスキル、余暇スキルの重要性が理解できてよかった

発達障がい児者支援スキルアップ研修事業



実際に関わっているケースで宿題



実践してみる



実践報告・フォローアップ

参加者：延べ80名

11/8


11/29

12/17


NPO

NPO

9:30 16:45 9:20


<https://x.gd/iMP1d> 10/20

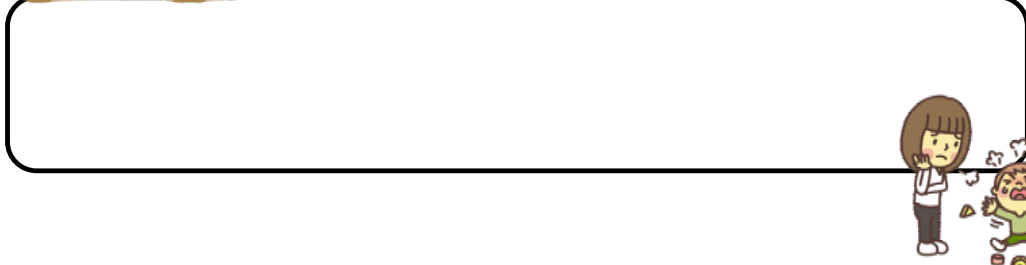
kenshu@aor1d.com (TEL: 0173-26-5 54



『スキルアップ研修』受講者の感想

- 見立て、手立てを行うことでその子の発達や特性に合わせた支援を提供できたように感じた。 どうしたら対象児に対し分かりやすく伝えることができるかを再認識できた。
- 宿題を通して1人の子と向き合い氷山の表に出ている困りごとの下には何が隠れているのか、こちらがどう動いていけば良いのかを知る事ができ、とても良い時間になった。
- 今回の宿題などで丁寧に見立てることでたくさんのことが見えてくることがわかりました。今後の支援に存分に活かせる研修でした。ありがとうございました。
- 日にちを分けることで、研修が終わったら、終わり。ではなく、きちんと実践したり取り組む時間があったことが次につながるなり良かったと思う。
- 様々な支援方法を考え、実践し、芽生えを見つける努力を「し続ける」ことが大事なのだと、改めて心に刻みました。本人のみならず、保護者の思いにも心を寄せ、家族全体を支援するという気持ちを忘れずに向き合っていきたいと思いました。

家族サポート応援事業～ペアレント・プログラム



52

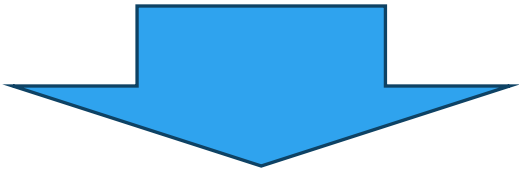
2

NPO

0173-42-2044


つがる市・「わかば」共催
保護者10名 支援者10名

【昨年度アンケート実施】
実施資格認定を受けたが、実施に不安
があると答えた方が多かった




- ・ 資格認定者にオブザーバーで参加
してもらい、次年度以降に繋げる
- ・ 来年度は自治体主体で運営


家族サポート応援事業～ペアレント・プログラム



6

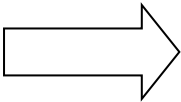


1		
2		
3		
4		
5		
6		



nico

FAX



平川市主催
(自立支援協議会)

保護者5名 支援者3名

昨年度「わかば」と共催で実施

今年度は自治体主催で実施できるよう運営のサポート

家族サポート応援事業～ピアサポート



- ・同じ趣味の話ができて楽しかった！
- ・具材が入ったたこ焼きを初めて食べた！

第1弾
たこ焼き交流会
5名の高校生が
参加



青森県発達障がい者支援センター「あかば」
ピアサポート

陶芸ワークショップ
語らい

日時：令和7年2月22日（土）
時間：10:00～12:00
場所：布施病院内（作業療法室）
持ち物：エプロン・手拭きタオル
参加費：300円（材料代として）
集合場所：布施病院 駐車場P
住所：五所川市芭蕉18-4

第2弾
陶芸&語らい
地域の精神科ディケアと連携

今後の方向性

◆地域連携強化事業

- ・乳幼児健診への協力や巡回相談を継続し、チェックシートや発達支援ガイドブックなども活用しながら地域の支援向上に繋げていく

◆スキルアップ研修事業

- ・強度行動障害支援に関する研修会などの開催
- ・フォローアップ研修で実践につながるような研修を開催

◆家族サポート応援事業

- ・引き続き、各地域でペアレント・プログラムを実践するためのサポート体制を構築
- ・ピアサポートとして高校生に近い年齢層の当事者同士が同じ悩みを共有できる場を設定していく